

一液水性特殊変性エポキシ樹脂さび止め塗料

水性エポサビアンダー

EPOSABI UNDER W

—TVOC 1%未満—

環境にやさしい水性さび止め塗料

水性エポサビアンダーは、独自の防食技術をベースに、特殊変性エポキシ樹脂と鉛・クロムを含まない防錆顔料の応用により、これまで水性塗料では困難とされていた高い防食性、密着性、乾燥性を実現しました。さらに、水性一液タイプのため、低臭で使いやすく安全な作業環境と作業効率の向上に役立ちます。

特長

水性で低VOC

環境に配慮した低臭の一液タイプで、使いやすく、室内でも安心してご使用いただけます。
TVOC（総揮発性有機化合物）は1%未満です。

防食性

JASS 18 M-111（水系さび止めペイント）の性能を満たす防食力を発揮します。

速乾性

約3時間で塗り重ねが可能です。（温度23℃）

優れた密着性

各種旧塗膜に対し優れた密着性を示します。

環境対応

人体に有害な鉛、クロムを含んでいません。

用途

使用部位

- 建築物内部の鉄部（建屋鉄骨、鉄扉、門扉、手摺、軽量鉄骨など）
- 非雨掛りの外部

適用下地

●適用素地

新設：鉄、アルミニウム

塗り替え：鉄、アルミニウム、ステンレス、亜鉛めっき^{*1}

^{*1} 無塗装面、めっき露出面への塗装は不可

●適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント	ポリウレタン樹脂塗料
フタル酸樹脂塗料	エポキシ樹脂塗料
アクリル樹脂塗料	アクリルメラミン樹脂塗料

旧塗膜が活膜の場合は目荒し等の表面処理が必要です。

適用上塗材

推奨塗材：JIS K 5660 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント

- 水性エコファイン艶有り
- エコフレッシュ艶有り

^{*1} 上記製品は全て JIS 認証製品です。

^{*2} 水性エコファイン、エコフレッシュは半艶、3分艶も適用できます。

^{*3} この他、水性コンポウレタン（艶有り、半艶、3分艶）、水性コンポシリコン（艶有り、半艶、3分艶）、水性セラミシリコン（艶有り、半艶、3分艶）も適用できます。

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●被塗物のミルスケール、ほこり、油脂分、余分な水分などを除去し、清浄にしてください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物は、サンドペーパーやディスクサンダーなどにより十分に除去してください。							—
下塗り ^{*1,2}	水性エポサビアンダー	100	0.12~0.16	1	—	3以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清 水	0~10	—					
上塗り ^{*3}	水性エポファイン艶有り	100	0.25~0.30	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清 水	5~15	—					

●施工上の注意事項

- *1. 素地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- *2. 水性エポサビアンダーの希釈率は、スプレー塗りで「5~10」、刷毛・ローラー塗りで「0~5」となります。
- *3. 水性エポファイン艶有りの希釈率は、スプレー塗りで「10~15」、刷毛・ローラー塗りで「5~10」となります。
- *4. 水性エポサビアンダーの乾燥膜厚は、35μm です。乾燥膜厚は、標準的な塗装条件や下地を想定したときの目安を示したものです。膜厚は、塗装条件や器具、塗装部位の形状、下地の状態等によって異なりますので、ご了承ください。
- *5. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- *6. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠れ性を高めるため、予め隠れ性の良い共色を塗装してください。
- *7. 艶調整品(艶有り以外の半艶、3分艶など)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なる場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ面所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- *8. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- *9. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- *10. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- *11. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一色目、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- *12. 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- *13. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- *14. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- *15. 塗膜の剥れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- *16. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の剥れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- *17. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- *18. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- *19. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- *20. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかり密封してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- *21. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

性能試験成績表

JASS 18 M-111 水系さび止めペイントによる物性試験結果

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
低温安定性(-5℃)	合格	変質しないものとする。
塗装作業性	合格	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。
乾燥時間(h)	合格	8以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
塗膜中の鉛(%)	合格	0.06以下
塗膜中のクロム(%)	合格	0.03以下
複合サイクル防食性	合格	36サイクルの試験に耐えるものとする。

乾燥時間

項目	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	20分	15分	10分
半硬化	2時間	1時間	1時間
塗り重ね時間	5時間以上	3時間以上	2時間以上

荷姿

- 水性エポサビアンダー 16kg石油缶 (標準塗坪：100~133㎡/缶)
4kg缶 (標準塗坪：25~33㎡/缶)
- 水性エポファイン艶有り 16kg石油缶 (標準塗坪：53~64㎡/缶)
4kg缶 (標準塗坪：13~16㎡/缶)

*上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や膜厚などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

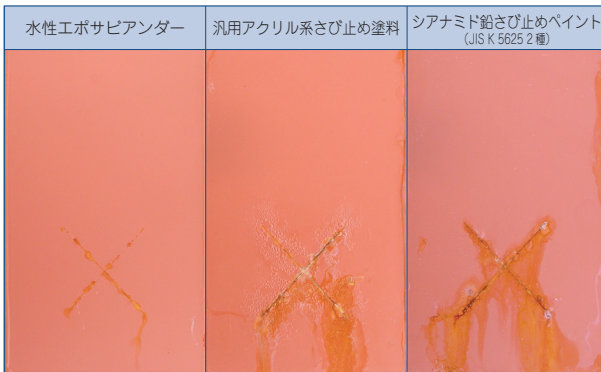
施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

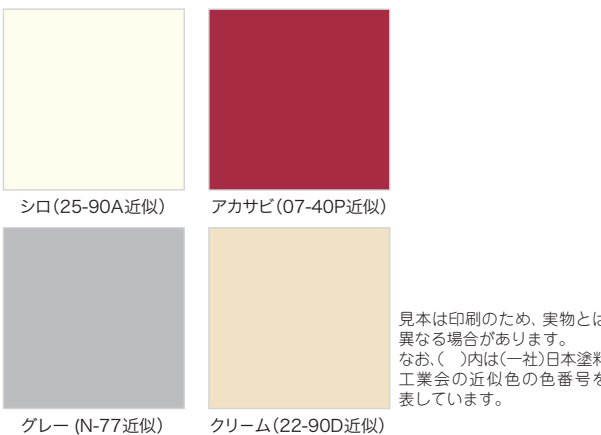
複合サイクル試験

- ①塩水噴霧(濃度50±10g/l、温度30±2℃)0.5hr
- ②湿潤(95±3%RH、温度30±2℃)1.5hr
- ③熱風乾燥(温度50±2℃)2hr
- ④温風乾燥(温度30±2℃)2hr

①~④を1サイクルとし、36サイクル実施



色目



見本は印刷のため、実物とは異なる場合があります。
なお、()内は(一社)日本塗料工業会の近似色の色番号を表しています。

